



# ききょう便り

令和2年 夏号(第62号)



「ききょうの里の介護人材確保について」

ききょうの里の向日葵

施設長 堤 佳史

昨今、高齢者介護施設にとって介護職員の確保は最重要課題となっております。当施設においても介護職員の確保は非常に頭の痛い問題です。

最初にこのような状態になるのを予感したのは平成22年頃です。当施設では介護職員の応募件数は平成18年をピークに年々減少し、平成22年度の新規採用者は0名となってしまいました。中途採用枠の応募者がそこそこいたので人材不足になるような事はありませんでしたが、危機感を覚えた瞬間でした。あくまでも私見ですが、このような介護人材の応募者が極端な増減に至った背景にあったものは、株式会社コムスンの影響が少なからず関わっているように思います。コムスンが介護サービスに関するテレビCMを放映していた頃は、介護事業が新たな成長分野として注目を浴び、有名大学の学生が就職を希望した事もありました。しかし、平成19年頃には介護報酬の不正請求事件を起し、介護業界全体のイメージが一気に悪化しました。

このような背景がある中、平成22年度に応募者が0名というのは合点がいきます。この先、好転する兆しがあるのか予想してみたところ、少子化問題もあるので私の頭の中で全く良いイメージが出来ませんでした。

そこで、平成22年頃に介護職員確保として費用面やリスク面及び緊急度等を総合的に勘案した上で、以下のとおりシナリオ風に取り組みを順位付けしてみました。⑧以降は、取り組みというより企業の延命措置です。「①新たな雇用の発掘、②企業のイメージアップ、③職場環境の整備、④介護ロボットの導入、⑤外国人労働者の雇用、⑥職員による介護人材紹介制度、⑦派遣労働者の雇用、⑧居宅系介護事業所の休止、⑨入所定員の縮小」

この取り組みを①から順番に実施して参りましたが、各取り組みの内容や結果については、紹介しきれないのでまたの機会と致します。この取り組みの中には大失敗もあったので、ご説明するにはお恥ずかしい限りです。

介護人材確保の取り組みは①から順に実施して、現在は「⑤外国人労働者の雇用」に取り組んでおります。令和3年4月からはベトナム人留学生4名が入職する予定で、さらに2年後に2名という流れですが、この流れを軌道に乗せ、やがてベトナム人留学生が中堅職員や管理職へ育って活躍してくれる日が来るのが今から楽しみです。

しかし、現在は新型コロナウイルスの影響により、ベトナムに一時帰国した2名が再入国出来ず、新たに採用を内定した2名も日本へ入国出来ない状態です。このような状況に負けず、魅力ある職場作りを進めるため、今後も①から行ってきた良い取り組みは継続していきたいと考えています。



## 社会福祉法人 桔梗会

特別養護老人ホームききょうの里  
ききょうの里短期入所生活介護事業所  
ききょうデイサービスセンター  
ききょうの里居宅介護支援事業所  
沼田市在宅介護支援センターききょう

ききょうデイサービスセンター岡谷  
ききょうヘルパーステーション

〒378-0002  
群馬県沼田市横塚町957番地2  
TEL 0278-23-8831  
FAX 0278-23-8832

〒378-0061  
群馬県沼田市岡谷町687番地  
TEL 0278-23-8861  
FAX 0278-23-8852

発行責任者 堤 佳史

# ききょうの里ユニット型

4月26日

気候が穏やかになり、日差しが暖かくなってきました。ユニット型大地グループと大空グループの居室の間にあるテラスで、花植えをしました。みなさん、とても生き生きとして笑顔がこぼれていました。



赤くな〜れ!!



5月24日

夏の収穫に向けてトマトの苗を植えました。

7月16日

トマトの実が大きくなりましたがまだまだ青く、収穫にはもう少し！収穫が楽しみです。



施設の中だけの生活となるとなかなか季節を感じる機会が少なくなってしまいます。咲いている花や風景を見て四季を感じて頂き、普段の生活で当たり前を感じる、当たり前前だけでもこういった日常生活をいつまでも持つ機会を作っていきたいと思います。

## 美味しかったあの味噌汁の味・・・

なかなか食事の進まない A さん、職員が食事を勧めても、A さん「美味しくねえ」と拒否。職員が A さんにご家族や昔の事など多くコミュニケーションをとっていると、ある食品の思い出に辿り着きました。A さん「味噌汁は世田谷しか飲まない！」おそらくあの CM でおなじみの世田谷自〇食品の事だと思います。その日の気分によりムラがある A さんですが、味噌汁を提供する時に「世田谷の味噌汁ですよ～」と言うと A さん「やっぱ世田谷はうんまいなあ～、違う！」と CM に出演している演者さん？みたいに絶賛して、グイグイと飲み干します。職員「何が違うんですかね？」、A さん「出汁も違うし、味噌も違う。昔から飲んでるから分かるんだ。他の人も頼めばいいのになあ…」と、満面の笑顔で世田谷の味噌汁の味を思い出しながら実は職員の作った味噌汁を毎日美味しく召し上がって頂いております。

勿論、嘘をつくことは一般論としてはよくない事だと思いますが、全てが嘘やでまかせと言う事ではなく、A さんとの会話の中でご家族や友人との楽しかった思い出など、多方面からアプローチして楽しい気分を作り出して対応した職員のコミュニケーション能力の高さに感心するとともに、世田谷自〇食品の信頼の高さに驚かされました。



## フォトアルバム(行事紹介)



職員が焼いた味噌ま  
んじゅうを施設の中  
で食べて頂きました。  
外出などが出来な  
い中で、外での食  
事は外で利用し  
て頂きたいです。

七夕では、短冊  
にお願い事を書い  
て飾り、昼食はそ  
うめんを食べまし  
ました。



利用者様は、今の時期は外出ができないので、施設内で楽しく過ごせるよう職員で色々と考えて、毎日を過ごしています。作品を作ったり、将棋をしたり、ゲームをしたりと、頭を働かせたり、体も動かしたりしてみなさん生き生きとしています。

### ～介護支援専門員としての取り組み方～

ききょうの里居宅介護支援事業所

ケアマネジャーとは、介護保険制度に基づき要支援、要介護と認定された方の介護状態が悪化しないようにケアマネジメントを行う専門職です。ケアマネジメントには、アセスメント(実態把握)やケアプラン(居宅サービス計画)作成、モニタリング(客観的評価)の3つの業務があります。

アセスメントでは、相談を受けてから介護を必要とする利用者様やご家族が抱えている課題を分析し、どのような支援が必要なのかを考えます。

ケアプラン作成では、アセスメントの結果を踏まえてご本人やご家族、介護保険サービス事業者、医療従事者等と会議を行い、介護サービスを受けるための計画書を公正中立な立場で作成します。

モニタリングでは、月に1回は必ず利用者様のご自宅へ訪問して、利用者様やご家族から介護サービスについて話を伺い、現状を把握するとともに必要に応じてケアプランの修正を行います。他にも利用者様が入院した際などは、医療機関との連携等を図る業務があります。

ききょう居宅介護支援事業所では、私を含めて3名の介護支援専門員が在籍しています。私以外2名(山田幸枝・篠田一成)もスキルのある頼れるメンバーですので、いつでもご相談下さい。

一番大切なのは、どんな事でも相談出来る人が居ることだと思います。介護は終わりが見えません。だからこそ頼れる相談役が居ることで、気持ちの支えになると思います。担当する利用者様が本人らしく在宅生活を継続して頂き、ご家族に対しては、介護負担の軽減を図れる様、臨機応変に支援を行い、様々な案件に今後も取り組んでいきたいと思っています。

主任介護支援専門員 木村 まゆみ

## 「エッセンシャルワーカーとして」

課長 佐藤 広美

早いもので、私がききょうの里に入職してから25年が経ちました。お世話になった諸先輩方が卒業されていく中で、ふと気づくと「古株？」となっていました。

介護保険が始まる前から…と思うと、何だか随分遠い昔のようにも感じます。思えば、事務職員として就職した私にとって介護の世界は、何の知識も技術も持たないゼロからのスタートでした。そんな私が今こうして仕事を続けていられるのは、厳しく優しく根気よく福祉の道へ導いてくれた先輩方、共に支え合い一緒に頑張ってきた仲間、そして、“人には皆一人ひとりの、生活があり、思いがあって、生き方がある”ということ、身をもって教えてくださる利用者の方々との出逢いがあったからです。私にとって全てが財産であり、心から感謝しております。

このコロナ禍の中、私たち介護職員も、生活を維持するために欠かせない業務に携わっていることから「エッセンシャルワーカー」と呼ばれています。エッセンシャルとは、英語で「必要不可欠な」と意味します。改めてこの仕事の大切さ、役割の大きさを痛感しましたが、一方で、私たちが働く介護の現場は、仕事上3密が完全には避けられず、「感染するかもしれない…」という不安と、「感染源になってはならない！」というプレッシャーを抱え、大きな負担を強いられながら毎日仕事を続けています。

そんな中、ほっとさせられたのが、コロナのことなど全くわからない訪問先の利用者様。生まれ故郷のことや、子育てのこと、商売が成功して忙しく過ごしたことなど、繰り返し楽しそうにお話しされる様子に耳を傾けていると、本来の私たちの仕事に気づかされ、いつもの生活を守ることの大切さを感じました。

不安や緊張、様々な制約がある中でも、できるだけ利用者様にいつもと変わらない日常生活を送っていただけるよう職責を果たしていきたいと思っております。利用者様、ご家族様におかれましてもさぞかしご心配なことと思います。そんな時は、いつでもお声かけください。このコロナ禍と一緒に乗り越えていきましょう。

## ～ききょうの里制服一新～



ききょうの里では、雇用改善プロジェクトのメンバーが中心となり、2019年4月頃から会議をしたり、全職員にアンケートを取ったりして、2020年4月から心機一転、制服を変更しました。以前は自由な服装だったので白、黒、紺を好んで着ている職員が多く、施設内が少し暗め感じていましたが今ではその日の気分で好きな色のユニホームを着て仕事をしているので、施設内の雰囲気は明るい印象になりました。長袖上下は2種類で、半袖は各部署によりデザインが少しずつ違います。上着の色は何色もあるので好きな色を選んで着用しています。

利用者様からは、胸の部分に名前を入れたので、「名前がわかりやすい」とか「みんなが揃っていて綺麗」などと声を頂いています。



## ★今後の予定★

特別養護老人ホームききょうの里（従来型・ユニット型）・ききょうデイサービスセンター・ききょうデイサービスセンター岡谷の行事は、新型コロナウイルスの影響の為、当面の間自粛させていただきます。